

令和元年11月 加茂市長定例記者会見

R1. 11. 6 (水) 10:00

## 1 台風19号による被害状況と被災地への応援について

加茂市の被災状況について、まず農林被害ですが、日本なし新高、新興、西洋なしの果実の落下により概算で約780万円、ビニールハウスの被害が3棟です。次に土木被害については、市道中ノ又線下条地内で法面崩土により、約6万円の概算被害額を計上しています。

その他、公共施設の被害として、市民体育館の窓ガラスの破損、公民館須田分館のアタンの剥離を確認しています。

また、台風の対応として、市内9カ所に避難所を設置し、合計40名の方が避難されました。

次に、被災地への応援についてです。

- ①三条市長さんの呼びかけに応じ、給水支援を福島県相馬市に行いました。給水車1台と給水活動に従事する職員計4名を10月13日～22日までの10日間派遣し、市で保有しているキャンバス水槽9基とその設置に従事する職員4名を派遣しました。
- ②消防庁長官の求めにより、緊急消防援助隊として、加茂地域消防からは、救急隊1隊、4名を長野県長野市に10月13日～15日まで派遣しました。新潟県大隊は、指揮支援隊以下、50隊、総勢181名の派遣となりました。

- ③チームにいがたの要請により、被害認定調査に従事する職員 3 名を福島県郡山市に派遣しました。第 1 クールから第 3 クールまで各 1 名ずつ派遣しており、今現在第 3 クールの職員が 1 名派遣されています。
- ④全国青年市長会の要請により長野県佐久市にカラーコーン等の提供、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の要請により土のう袋の提供などの支援を行いました。
- ⑤義援金に関して、市内 17 の施設に募金箱を設置しました。今後寄せられた募金については、日本赤十字社を通して、被災地に送ります。

今後の支援要請についても、被災地の一日も早い復旧・復興のため、できる限り対応していきたいと考えています。

## 2 ロシア体操連盟会長来市について

今月末の 11 月 29 日（金）にロシアの体操連盟のチトフ会長が加茂市にお見えになります。おいでいただくのは、会長と昨年もおみえになったサロマトフ国際部長さんと通訳の 3 名です。

予定として、まだ正式に調印を行っていなかった事前キャンプ地の調印と体操トレーニングセンターの視察を計画しています。

今年の 7 月に加茂市で合宿を行ったロシアチームは、10 月にドイツで開催された世界選手権で男子は団体金、個人総合も金と銀に輝きました。また、女子も団体で銀を取り、来年の東京オリンピックで多くのメダルが期待され

ます。

加茂市におきましては、今年以上にしっかり対応をして、ケガなくオリンピックが迎えられるよう準備していきたいと思います。

### 3 加茂菊花展の開催について

今年も第 16 回加茂菊花展を冬鳥越スキーガーデンで開催します。

期間は、本日 11 月 6 日（水）から 11 月 24 日（日）までの毎日、時間は午前 9 時から午後 5 時までです。

なお、本日は午前中に菊の審査があるため、一般の方からご観覧いただけるのは午後 1 時からとなります。

共催の加茂郷菊花同好会の皆様をはじめ、市内外の菊愛好家の皆様が、丹精込めて育てられた数多くの菊を展示いたします。

白、黄色、紫などの満開の菊が並んだ壮観な雰囲気と、菊の香りをお楽しみいただければと思います。

入場は無料です。皆様のお越しをお待ちしております。

また、本日午後 1 時 30 分から、冬鳥越スキーガーデンにて表彰式を開催します。

### 4 NHKのど自慢の実施について

NHK新潟放送局と加茂市では、11 月 17 日（日）加茂市市制施行 65 周年

を記念して「NHKのど自慢」を実施します。

出演は、予選を通過した20組のみなさん、ゲストの坂本冬美さん、横山だいすけさん、司会の小田切千（おだぎりせん）アナウンサーです。

17日午後0時15分からNHK総合テレビ、ラジオ第1、国際放送で生放送されます。加茂市の紹介もありますので、ぜひ放送でお楽しみいただきたいと思います。

本番の観覧申込は好評で、県内外から8千通を超える応募がありました。多くの応募をいただきありがとうございました。応募多数のため、抽選のうえ入場整理券を発送しました。

本番の前日16日（土）に、250組のなかから本番へ出演する20組を選ぶ、予選会を行います。こちらは入場自由です。満席の場合は入場制限をする場合がありますが、多くの方から足をお運びいただき応援いただきたいと思えます。

## 5 新潟経営大学及び新潟中央短期大学との連携に関する協定について

11月22日午後3時から、新潟経営大学及び新潟中央短期大学と包括連携協定の調印式を行う予定です。

今後、連携協議会を設置し、教育・文化・人材育成、産業・観光・まちづくりの振興、福祉・保健・スポーツ・健康増進、人口減少対策等に関して連携・協力していくこととなります。

問題は山積していますが、総合計画の策定や施策推進にあたり、官学で知恵を出し合い、地域社会の発展、人材の育成に繋げていきたいと考えています。